

埋金浄水場監視カメラ等設置工事特記仕様書

1 適用

この仕様書は、春日那珂川水道企業団(以下「企業団」という)が発注する「埋金浄水場監視カメラ等設置工事」(以下「本工事」という)に適用する。

特記仕様書に定めのない事項については、春日那珂川水道企業団の工事共通仕様書他、その他関係委法令で定めるところによるものとする。

2 目的

本工事は、埋金浄水場の裏門側のセキュリティ向上のために、監視カメラ及びインターホンを設置すること、並びに薬品沈殿池でのフロック形成状態の迅速かつ正確な把握のために設置から14年経過し、経年劣化によりカメラ性能が低下している既設監視カメラを更新することを目的とする。

3 契約期間

契約締結日の翌日から令和8年2月27日まで

4 履行場所

那珂川市大字埋金 815-1 埋金浄水場

5 工事内容

(1)裏門監視カメラ設置工事

①工事内容

既存の監視カメラシステムで、薬品注入室の外壁にネットワークカメラを新設するもの。

②機器構成(参考)

No.	名称・仕様	数量
1	ネットワークカメラ(屋外用) パナソニック(株)製 型式 WV-S65340-Z2N	1 台
2	吊り下げ金物	1 台
3	カメラ壁取付金物	1 台
4	コーナー取付金物	1 台
5	光コンバータ収納箱(SUS)	1 面
6	PoE インジェクタ	1 台
7	光コンバータ(1 芯、A タイプ 100M/10M・シングルモード)	1 台
8	光コンバータ(1 芯、B タイプ 100M/10M・シングルモード)	1 台
9	ケーブル(EM-CE2sq-3c)	5m
10	LANケーブル(カテゴリ 6A、5m)	1 本
11	ケーブル(光ケーブル 120m)	1 式
12	電線管(HIVE22)	30m
13	電線管付属品	1 式
14	プルボックス(SUS、WP200×200×150)	1 個
15	雑材消耗品	1 式

(2)薬品沈殿池監視カメラ更新工事

①工事内容

薬品沈殿池に設置している既存の監視カメラ設備・システムを利用しつつ高性能の監視カメラに取り換えるもの。

②機器構成(参考)

No.	名称・仕様	数量
1	ネットワークカメラ(屋外用、固定型) パナソニック㈱製 型式 WV-U1532LA	1 台
2	ポール取付金物	1 台
3	PoE インジェクタ	1 台
4	LAN ケーブル(カテゴリ 6A、5m)	1 本

(3)裏門インターホン設置工事

①工事内容

裏門にインターホンを設置し、中央管理室にて応答できるようにするもの。

②機器構成(参考)

No.	名称・仕様	数量
1	インターホン パナソニック㈱製 3.5 型カラーディスプレイ 型式 VL-B35CF	1 式
2	ケーブル(EM-CEE1.25sq-2C)	1 式

(4)共通事項

①機器寸法及び配置

本仕様書及び設計図書に記載されている寸法及び機器の配置は参考とし、承認図及び施工図により決定するものとする。

②提出図書等

工事共通仕様書に準ずるものとする。また、発注者が必要と認めるもの。

③工事の注意事項

- ・設置後、機器調整・現地試験を実施すること。
- ・電気配管については既設配管を利用できる場所は既設利用すること。
- ・機器構成については、参考機器同等品以上とし、なるべく最新のもので、既存システムと連動できるものに限る。同一品種の材料に対しては一社製品を使用するものとする。なお、参考機器とは別の機器の場合、発注者と協議して決定する。また、工事施工前にメーカーリスト等を発注者に提出して、承認を受けるものとする。

④保証期間

保証期間は引渡し後1年以内とし、その期間内に請負者の責任とみなされる原因によって事故(破損及び品質・性能低下等)が生じた場合、無償にて修理又は交換を行い完全に補修しなければならない。但し、天災その他通常乙のみの責と考えられない場合は、別途協議するものとする。

⑤関係法規の適用基準

- 1)労働安全衛生法（労働安全衛生規則）
- 2)電気事業法
- 3)電気設備技術基準
- 4)公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編・電気設備工事編）
- 5)日本産業規格（JIS）
- 6)日本水道協会規格（JWWA）
- 7)日本電気学会 電気規格調査会標準規格（JEC）
- 8)日本電機工業会規格（JEM）
- 9)内線規程
- 10)その他関連法規（国内法規）

6 書類の提出

受注者は、点検終了後、点検結果報告書を作成し、速やかに担当者へ提出すること。

7 事故及び機器の不具合

点検作業時及び終了後、受注者の責任に帰する事故、機器の不具合については、受注者の責任と負担により速やかに処置し、担当者の確認を得ること。ただし、責任の所在が明確でない場合は、その都度担当者と協議の上決定すること。

8 故障発見時の義務

受注者は、点検作業によって不良部品の交換、または、特別の機材を必要とする補修等の故障を発見したときは、担当者に速やかに故障の内容を報告すること。

9 疑義

受注者は、特記仕様書等の内容について疑義がある場合は、担当者と協議を行うこと。

10 その他

この仕様書は、業務の概要を示すものであるが、担当者が管理上特に必要と認めた軽微な業務については、仕様書に記載していない事項であっても実施するものとする。

設備の制御に支障をきたす恐れがある業務については、既存施設の構造、当該計装設備の仕様、特性に熟知した業者もしくは、業者の立合いの下に施工を行うものとする。